

# 平成23年度第4回都市環境デザイン委員会議事概要

日時：平成23年11月30日(水) 10:00から

場所：市役所10階第5B会議室

## 出席委員

河西委員長、小藤田副委員長、神田委員、佐伯委員、渋谷委員、鈴木委員、橋本委員、藤平委員

## 事務局

福島都市計画課長、佐藤課長補佐、松原基本計画係長、川角主査、高間主任、金津主任補

## 説明員

企画総務課：藤野係長、加賀主任

こども課：中橋主任補

建築営繕課：佐藤係長、中島係員

## 議事概要

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 議題

#### (1) 協議事項

##### ①平成23年度都市景観形成主要建築物について

- ・啓西小学校プール
- ・栄小学校校舎
- ・栄児童保育センター

委員会での主な意見・質疑は次のとおりです。

#### ◆啓西小学校プールについて

##### 【委員】

サッシについて、従来であればシルバーを用いるのが一般的だが、メタリックシルバーを用いることで斬新なイメージになるのではないか。

##### 【説明員】

サッシの選定時に参考にさせていただく。

##### 【委員】

既存の校舎と屋内体育館は暖色系だが、この計画では暗い色を使うようだが理由等はあるのか。

##### 【説明員】

既存の校舎西側は茶色を使用している部分があり、そこからこのプールに茶のレンガを用いている。

##### 【委員】

可能な限り植栽は豊富なほうがいいのでは。

◆栄小学校校舎について

【委員】

太陽光パネルの設置について、建物の上に乗せただけではなく、建物のデザインと一体化することが望ましいのではないかと。

【説明員】

参考にさせていただきます。

【委員】

樹木は極力移植するとの計画だが、前に現地を見た時に大きな木があったが、これを移植することは難しいかと思う。

【説明員】

現在、中庭に記念植樹10本程度があり、移植可能な4本を移植する予定。玄関前のイチイの木を3本移植予定。敷地の南側で隣地との境にマツがあるが、工事に支障があるためすべて伐採し、新たに高木を植える予定。

◆栄児童保育センターについて

【委員】

立面図では地味な色使いだが、児童保育センターとしての色使いとしては落ち着きすぎているように感じるが、意図はあるのか？

【説明員】

既製品のサイディングを用いて、栄小学校校舎の色合いと近づけるよう考えている。

【委員】

印刷の色の出具合もあると思うが、資料2の栄小学校校舎と同じ色使いということか。

【説明員】

全く同じ色は難しいが、出来るだけ似たような色調となるようにしたい。

【委員】

予算の関係もあると思うが、小学校の低学年が利用するので、学校帰りに子供が行きたいなどと思うような、楽しいと思えるデザインであっても良いのではないかと。

【委員】

建物の形状は変えられないと思うので、サイディングを選ぶ際など今回の意見を最大限活かしてほしい。

【委員】

引き違いサッシにこだわりがあるのか？窓の形を変えることでイメージもまた変わると思うが。

【説明員】

引き違いサッシで決定しているわけではないので、今後の参考にしていこう。

【委員】

多くの児童と一緒に生活すると思うので、窓の面積とか採光とかで開放的なイメージがあってもいいのでは。

**【説明員】**

参考にさせていただきます。

**(2) その他**

事務局より

来年1月下旬～2月上旬に、帯広圏広域都市計画協議会主催で景観を題材としてセミナーを行う予定なので、委員の皆様に参加いただきたい。

次回の委員会は2月頃を予定。

**4 閉 会**

以 上